

# 在庫管理システムの作成

2217037 片山 峻    2217123 若月泰生

# Agenda

1. 今月の活動報告
2. 在庫管理システムの概要
3. 今後の活動予定

# 1. 今月の活動報告

---

## 今月のテーマ：システムの概要決定

### ✓ 構想の立案

在庫の種類を食材、物資の2種から物資のみを扱うことを決定。

→食材の在庫量を追っていく過程が複雑であったので、まずは比較的単純な物資から取り組む。

### ✓ データ分析

販売データと発注データを拝見した。

特に発注データに関しては、物資の品目が74点、各曜日ごと、各種毎週、同量発注している様子。

### ✓ 必要情報の整理

次ページ以降詳細記載。

### ✓ 実装できる部分は実際にやってみる

# 在庫管理システム 必要情報の整理

## ■ システムの目的

現状の予想在庫量がわかる

➤ 現状の在庫量を算出するために

### 過去の発注データが必要(算出法は次ページ記載)

- 物資の発注サイトから発注履歴をエクセルとして抜いてきてシステムに読み込ませる
- 本システム上で発注業務を行い自動的に過去のデータを記録していく。

現在の在庫状況

➤ システム上で発注業務をより簡単に、正確に行うために

適当なタイミングで、発注品目、発注数が出てくるようにする

本日の発注(仮称)

イレギュラーに対応できるようにする。(自動出力と、その場で打ち込むことができる)

過去のデータ

見ている人が、過去の消費割合、発注数などのデータから、発注数の分析をできる

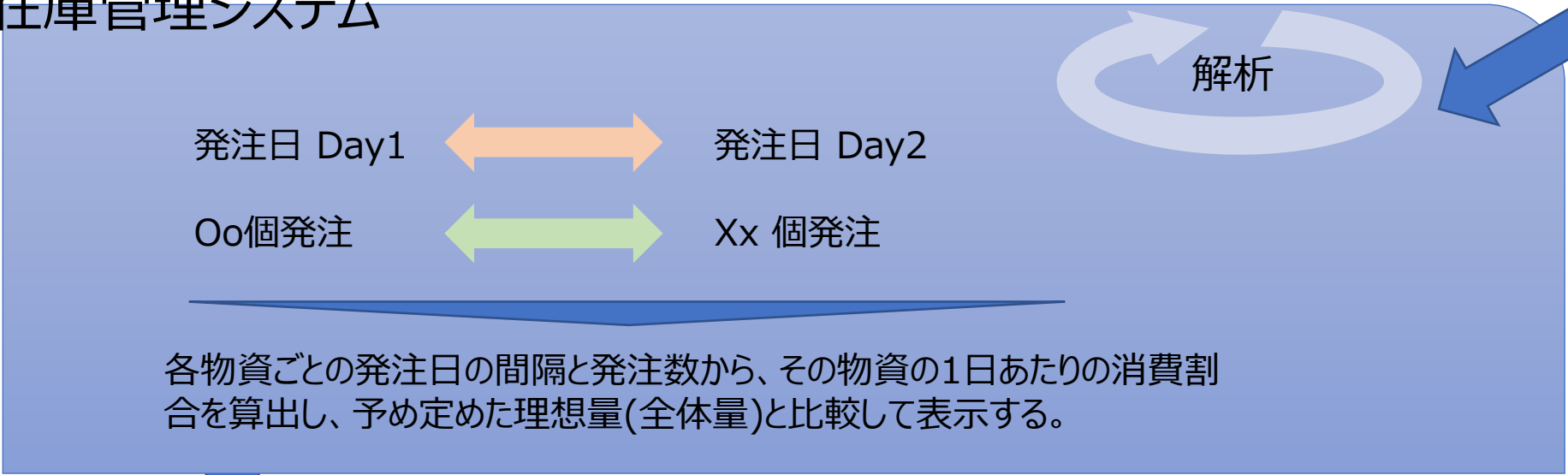
向こう1ヶ月の発注計画を作成し、それで良ければその数で自動発注ができる

今後の発注数

# 在庫管理システム 在庫量の推定

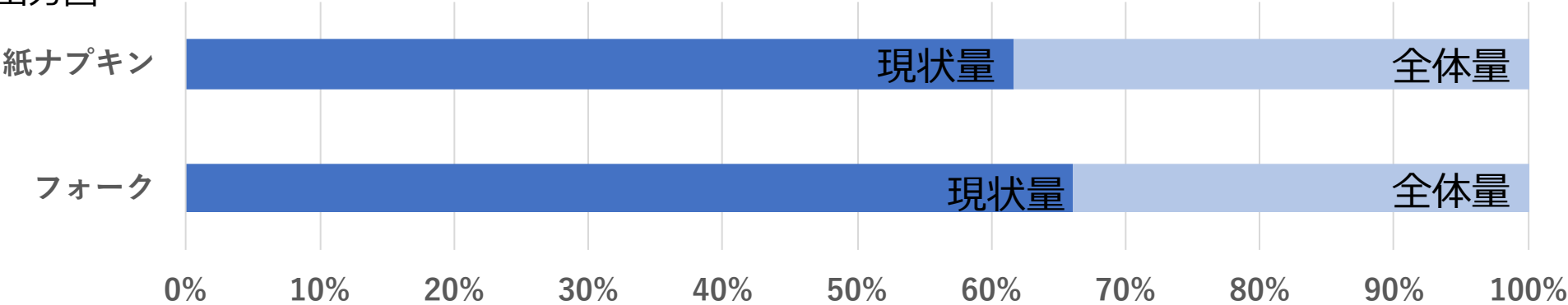
## ■ システム運転概要 在庫量の推定

### 在庫管理システム



\* 過去のいつのデータを参考にするかは、後日検証して決める。

### ▲イメージ出力図



# 在庫管理システム 完成イメージ

## ■ トップページ



Pass word

# 在庫管理システム 完成イメージ

■ 運用ページ(ホーム)



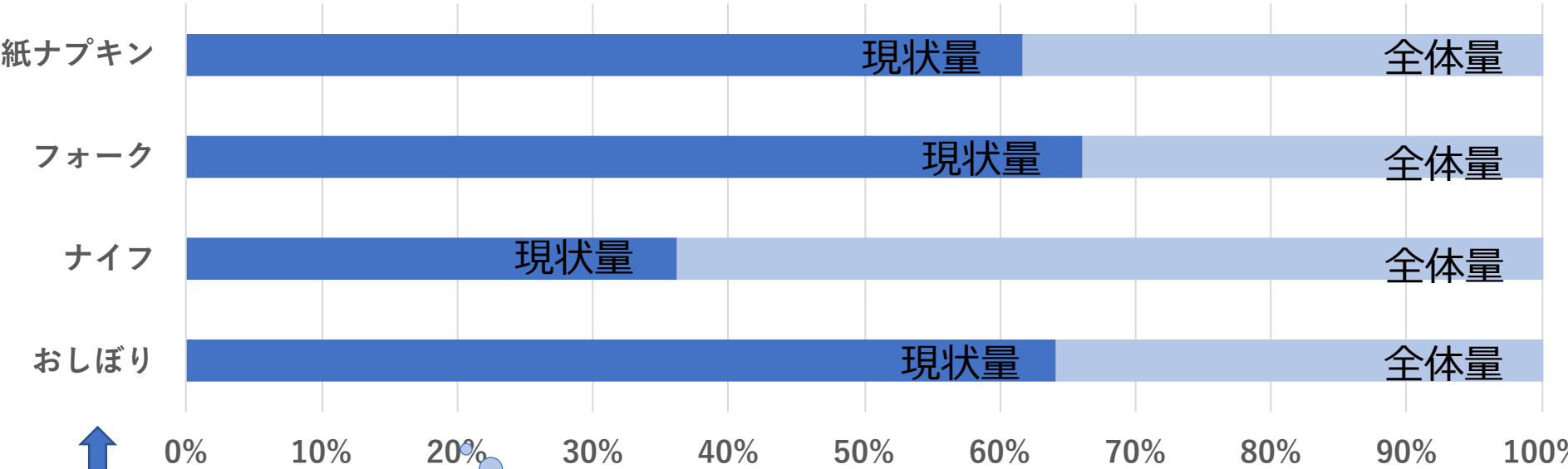
在庫管理システム(仮称)

20xx年 xx月 xx日 x時更新

現在の在庫状況	本日の発注(仮称)	過去のデータ	今後の発注数
---------	-----------	--------	--------

名前を選択

- ☒ 紙ナプキン
- ☒ フォーク
- ☒ ナイフ
- ☒ トイレットペーパー
- ☐ レジロール
- ☐ ペーパータオル
- ↓
- 以下省略  
(全物資名74点の名前を表示する)



0%とかを切ったら  
るといいかも？

縦軸は最高で74品  
並べるようにしたい  
スクロールがいいかも

画面左のボタンで選択した項目の  
在庫量をグラフで示す

横軸は固定がいい

# 在庫管理システム 完成イメージ

イレギュラーに対応できるようにする。  
(自動出力と、その場で打ち込むことができる)

## ■ 運用ページ(本日の発注)



在庫管理システム(仮称)

20xx年 xx月 xx日 x時更新

現在の在庫状況	本日の発注(仮称)	過去のデータ	今後の発注数
---------	-----------	--------	--------

Monday

発注を決定する

資材名	納品予定日	今回の発注数(仮称)
J S バーガーBOX 本体 100枚	20xx/x/xx	1



システムからの推奨資材が並ぶか 月曜固定で発注資材が決まっていればそれが並ぶ。 業者登録発注名をそのまま記載予定	資材名とリンクして表示されるといい。 決まっていれば常に表示しておけばいい。 更新した日時をもとに、 納品予定日を計算して表示する。 難しければ、何日後とかでもいいかも	デフォルトは、推奨発注数 (予め設定した発注数)が並ぶ。 実際の発注業務の中で、 特に修正が必要であればそこだけ変えるイメージ
--	--	--



# 在庫管理システム 完成イメージ

イレギュラーに対応できるようにする。  
(自動出力と、その場で打ち込むことができる)

■ 運用ページ(本日の発注)




在庫管理システム(仮称)

20xx年 xx月 xx日 x時更新

現在の在庫状況	本日の発注(仮称)	過去のデータ	今後の発注数
---------	-----------	--------	--------

Monday

発注を決定する 

資材名	納品予定日	今回の発注数(仮称)
J S バーガーBOX 本体 100枚	20xx/x/xx	1
フォーク# 160 黒 バラ500本入	20xx/x/xx	4
ナイフ# 160 黒 バラ 500本入	20xx/x/xx	2
SMT-400白無地 50個(M)12OZ	20xx/x/xx	2

# 在庫管理システム 完成イメージ

見ている人が、過去の消費割合、発注数などのデータから、発注数の分析をできる

## ■ 運用ページ(過去のデータ)



在庫管理システム(仮称)

20xx年 xx月 xx日 x時更新

現在の在庫状況	本日の発注(仮称)	過去のデータ	今後の発注数
---------	-----------	--------	--------

- 目的：この過去のデータを参考にして、今後の発注数を決められるようにしたい。
- 物資の1日あたりの消費割合を過去のデータから分析できるようにする。
  - 発注してから納品されるまでの日数もわかるといい。

- 商品名、どれくらいの期間でなくなるかを表示。(グラフか表)
- 期間は後日データを見て検討。週あたりで変化が起きているか月あたりかで表示するスケールを決める。
- 平日と休日で変化があるらしい

# 在庫管理システム 完成イメージ

向こう1ヶ月の発注計画を作成し、  
それで良ければその数で自動発注ができる

## ■ 運用ページ(今後の消費動向)



在庫管理システム(仮称)

20xx年 xx月 xx日 x時更新

現在の在庫状況	本日の発注(仮称)	過去のデータ	今後の発注数
---------	-----------	--------	--------

目的：向こう1ヶ月の発注計画立てられる。  
→一年前(仮)の発注数をもとに一月ごとので発注数を出す。

商品名	Monday	Wednesday	Friday
J S バーガーBOX 本体 100枚	1	2	1
フォーク#160 黒 バラ500本入	4	5	4
ナイフ#160 黒 バラ 500本入	2	2	3
SMT-400白無地 50個(M)12OZ	2	2	2



全物資74品目全てが並ぶ。



各曜日ごとの発注数が並ぶ。  
変更可能にしたい。  
この数をもとに「本日の発注」を構成していく。

それぞれの曜日で一定数発注する設定

# 在庫管理システム デザインサンプル

---

## 必要な工程

- エクセルファイルを、、
  - 1 読み込む(どのエクセルファイルを読み込むかを選んで読み込む)
  - 2 実行()

## 見たい情報

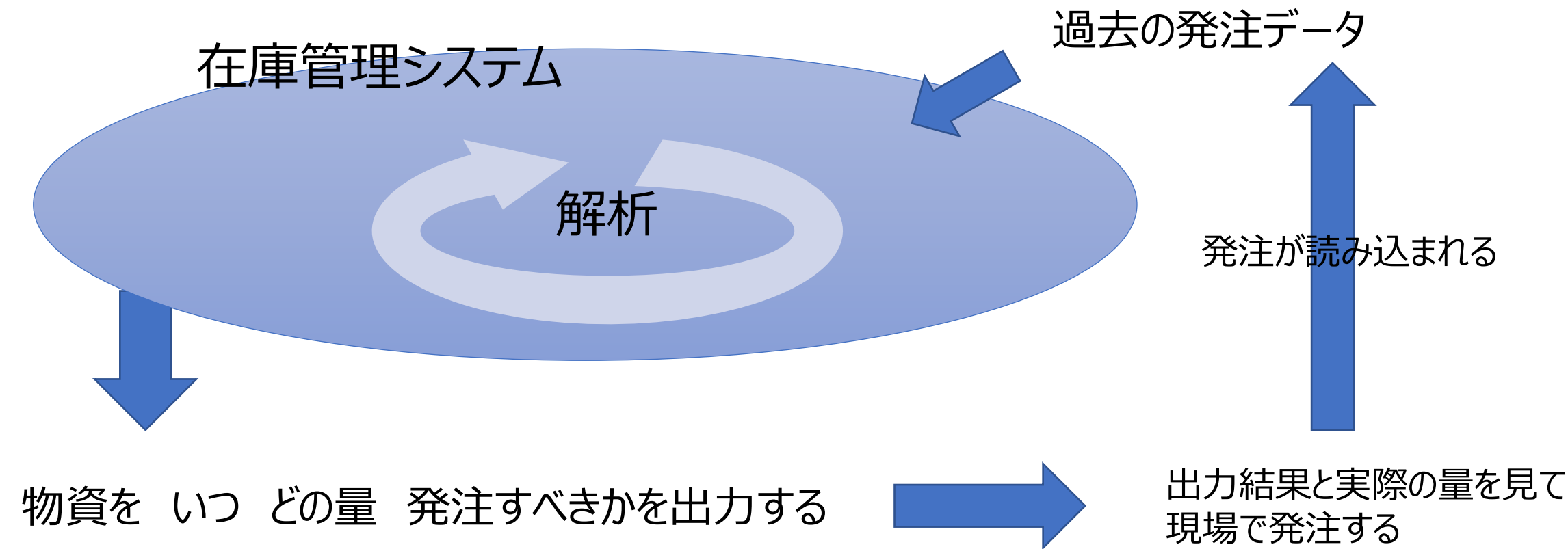
- 理想量と実際の量とその差
- その時何をどれくらい発注すべきか
- ストックからののはけ口(販売データからわかるもの、期限切れのものの量)

ジャンル別の在庫データが見たい

アプリにそのデータを蓄積していく

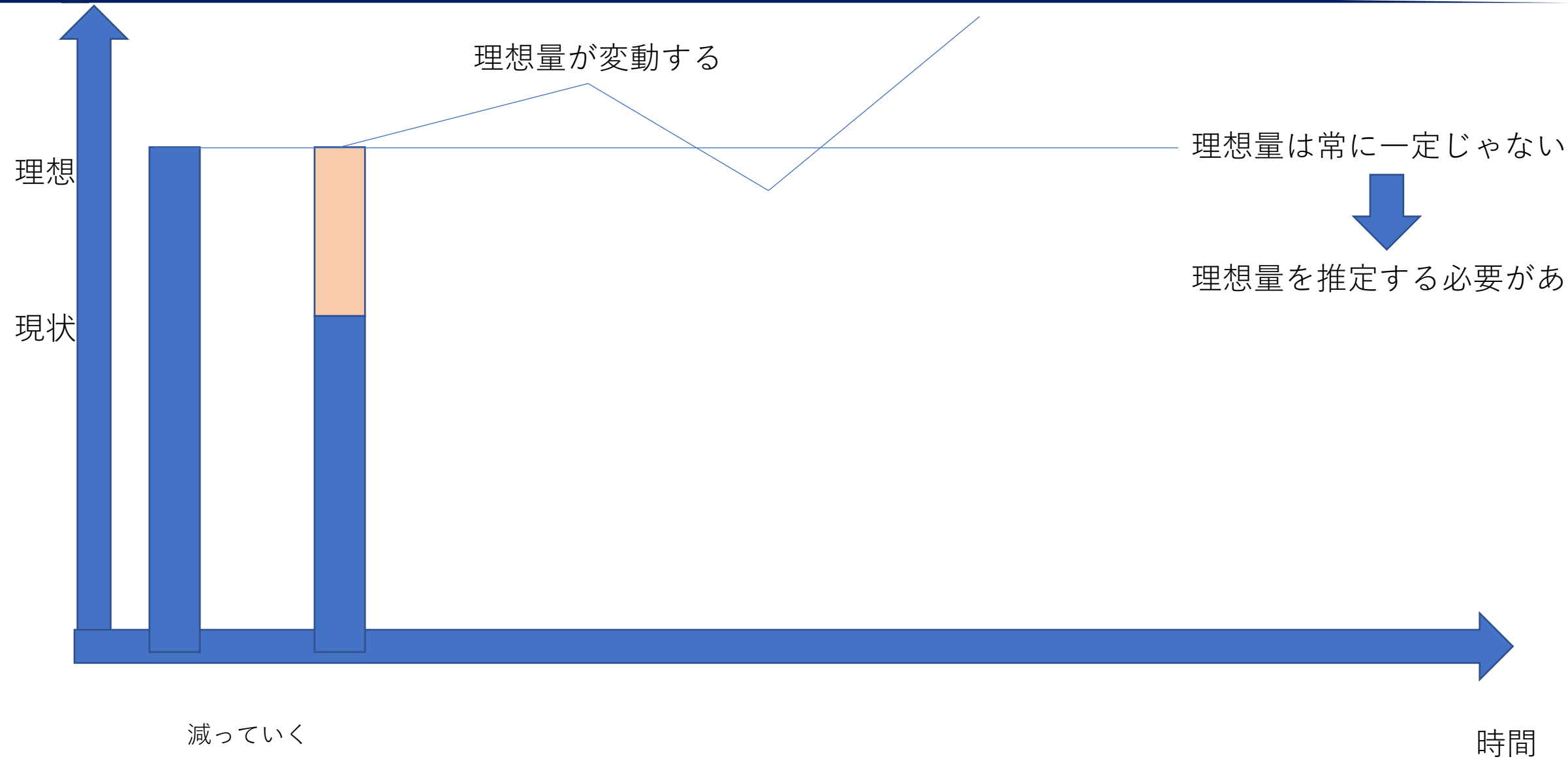
# 在庫管理システム 完成イメージ 物資

## ■ システム運転概要 発注業務の自動化



出力結果と実際の現場での発注数があって来たら  
自動で発注するところまで拡張する。

# 在庫管理システム デザインサンプル 食材関係



# 在庫管理システム デザインサンプル 食材関係

